

A グループ活動報告

B 荷重に対する鋼橋の診断と補強

第1章 概要

1-1 目的

経年した橋梁は様々な補修や補強を施されることにより、その機能を持続してきた。それは橋梁各部位の強度や機能についての設計理論・施工技術の不足、また、予想を越える車両の荷重や頻度の増加の影響などにより生じた損傷に対してのものに他ならない。「B活荷重」という新たな条件は橋梁に全体的な耐荷力の増大を余儀なくするものである。ここでは、既設橋梁を新設橋梁に架け替える方法ではなく、これまでの補修・補強を活用した「増強」を考えるものとし、様々な事例の整理・検討結果を今後の「診断」・「増強」資料として設計実務者に提供するものである。

— 用語の定義 —

- (1) 診断 既存構造物の補修・補強の必要性の有無を判定することをいい、その方法には現場での供用荷重に対する外観調査、応力測定、机上での設計荷重に対する健全度照査、応力照査などがある。
- (2) 補修 損傷により減少した既存構造物の耐荷力を損傷前の状態に復元することをいう。
- (3) 補強 既存の構造物に部材（補強材）等を補うことで、部分的な耐荷力の増大をはかることをいう。
- (4) 増強 補強と同様に耐荷力の増大を目的とするが、さらに構造物全体の、いわゆる「格上げ」をはかることをいう。

1-2. メンバー構成

リフォーム研究部会

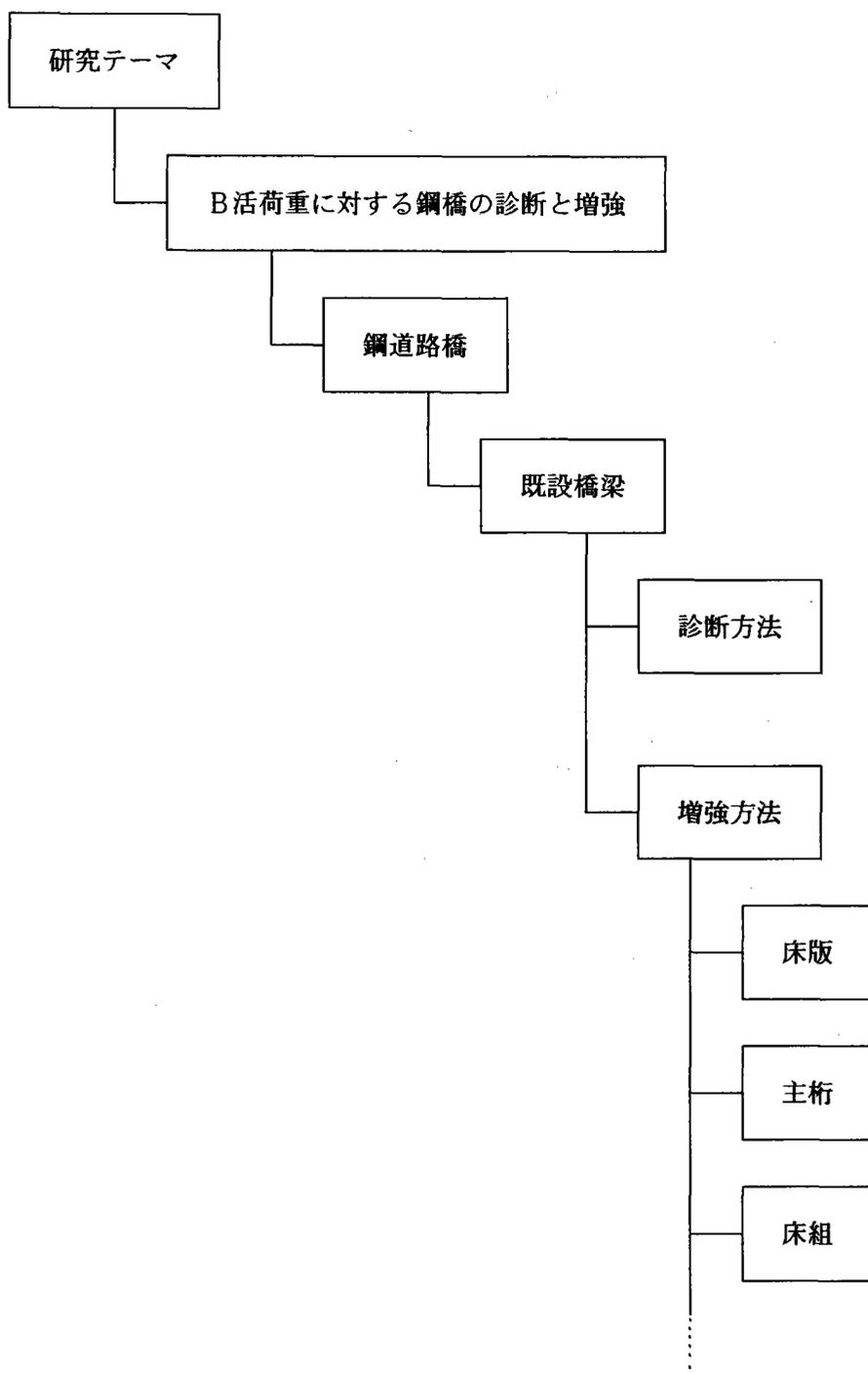
(平成8年3月)

	氏名	所属
部会長	成田信之	東京都立大学 工学部土木工学科
副部会長	前田研一	東京都立大学 工学部土木工学科

ワーキング・Aグループ

	氏名	所属
幹事	神澤福男	(株)建設技術研究所 技術第四部
副幹事	藤本 朗	住友重機械工業(株) 追浜橋梁鉄工場設計課
部会員	真坂英次	〃
〃	中村元彦	〃
〃	上田栄治	高田機工(株) 東京支店設計部橋梁設計課
〃	堀口隆良	(株)長大 東京支社構造道路保全部
〃	松本憲文	佐藤鉄工(株) 橋梁設計部橋梁設計二課
〃	高橋峰雄	東日本鉄工(株) 橋梁技術部第二設計課
〃	和田昌治	日本車輛製造(株) 鉄構本部設計部設計第二課
〃	瀬能浩実	(株)オリエンタルコンサルタンツ 総合技術部
〃	小芝明弘	(株)BMC 橋梁調査課

1-3 研究テーマの設定



1-4 作業手順

